

砂上の安心網-線引きに惑う 1

道真 HAKUSHIN

などについて、世界中から意見を募り始めた。
過剰規制の見直しは、日本の金融庁や銀行界がかねて主張してきたところだ。金融システムの安定

終末期は一般的に治る可能性がなく、間近に死が迫った状態を指す。記者(34)は大学生だった12年前、肝臓がんで父親を亡くした。享年55歳。がんが見つかった時は末期だった。過度な延命治療で医療費が膨らむのは反対だ。ただ、どこで線引きをすればいいのか。父の最期を思い返しなが

「胃ろうを選んだのは正しかったのか」。2014年、難病で妻を亡くした山口県岩国市在住の森山峻一さん(82)は今も悩む。胃に穴を開け、管で栄養を送り込む胃ろうによる延命治療を、妻の玉枝さんは死に至るまでの3年間、続けた。

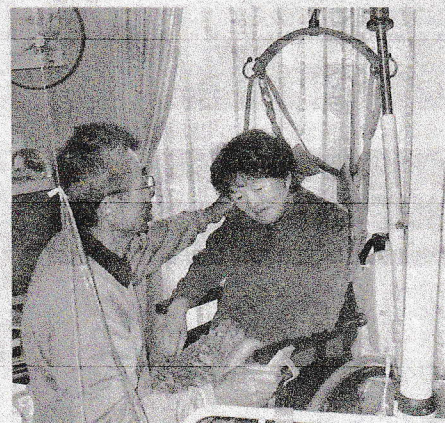
玉枝さんは筋力が徐々に衰えていく病気だった。最初に気づいたのは1997年。病院で病気が見つかり、以来、17年にわたり訪問看護や介護を受けて在宅療養する生活が始まった。

「胃ろうを選んだのは正しかったのか」。2014年、難病で妻を亡くした山口県岩国市在住の森山峻一さん(82)は今も悩む。胃に穴を開け、管で栄養を送り込む胃ろうによる延命治療を、妻の玉枝さんは死に至るまでの3年間、続けた。

玉枝さんは筋力が徐々に衰えていく病気だった。最初に気づいたのは1997年。病院で病気が見つかり、以来、17年にわたり訪問看護や介護を受けて在宅療養する生活が始まった。

終末期は一般的に治る可能性がなく、間近に死が迫った状態を指す。記者(34)は大学生だった12年前、肝臓がんで父親を亡くした。享年55歳。がんが見つかった時は末期だった。過度な延命治療で医療費が膨らむのは反対だ。ただ、どこで線引きをすればいいのか。父の最期を思い返しなが

伴侶の延命 悩みながら



森山峻一さん(左)は妻の玉枝さん(故人)を在宅介護で支え続けた(山口県岩国市)＝森山さん提供

時間をたつにつれ、手れない」。峻一さんは可くなつたらすべてやめた。この時点で終末期だ。時間や歩けた状態が、能力を信じた。「やりた方がよい」と説明した。母はあきらめなかつたのだと思う。

「胃ろうを選んだのは正しかったのか」。2014年、難病で妻を亡くした山口県岩国市在住の森山峻一さん(82)は今も悩む。胃に穴を開け、管で栄養を送り込む胃ろうによる延命治療を、妻の玉枝さんは死に至るまでの3年間、続けた。

玉枝さんは筋力が徐々に衰えていく病気だった。最初に気づいたのは1997年。病院で病気が見つかり、以来、17年にわたり訪問看護や介護を受けて在宅療養する生活が始まった。

玉枝さんは筋力が徐々に衰えていく病気だった。最初に気づいたのは1997年。病院で病気が見つかり、以来、17年にわたり訪問看護や介護を受けて在宅療養する生活が始まった。

「胃ろうを選んだのは正しかったのか」。2014年、難病で妻を亡くした山口県岩国市在住の森山峻一さん(82)は今も悩む。胃に穴を開け、管で栄養を送り込む胃ろうによる延命治療を、妻の玉枝さんは死に至るまでの3年間、続けた。

玉枝さんは筋力が徐々に衰えていく病気だった。最初に気づいたのは1997年。病院で病気が見つかり、以来、17年にわたり訪問看護や介護を受けて在宅療養する生活が始まった。

玉枝さんは筋力が徐々に衰えていく病気だった。最初に気づいたのは1997年。病院で病気が見つかり、以来、17年にわたり訪問看護や介護を受けて在宅療養する生活が始まった。

玉枝さんは筋力が徐々に衰えていく病気だった。最初に気づいたのは1997年。病院で病気が見つかり、以来、17年にわたり訪問看護や介護を受けて在宅療養する生活が始まった。

玉枝さんは筋力が徐々に衰えていく病気だった。最初に気づいたのは1997年。病院で病気が見つかり、以来、17年にわたり訪問看護や介護を受けて在宅療養する生活が始まった。

玉枝さんは筋力が徐々に衰えていく病気だった。最初に気づいたのは1997年。病院で病気が見つかり、以来、17年にわたり訪問看護や介護を受けて在宅療養する生活が始まった。

海自、米空母と共同訓練

政府関係者によると、当初は26日までの予定だったが、こうした期限を設定

半島に向けて北上している。射撃ミサイル駆逐艦も随行している。

朝鮮労働党の機関紙・

射撃ミサイル駆逐艦も随行している。

失言相次ぐ政権 「緩みある」73% 共同通信世論調査

名古屋市長に 河村氏が4選 任期満了に伴う名古屋市長選は23日投票票され、無所属で現職の河村たかし氏(68)が、いずれも無所属新人で前副市長、岩城正光氏(62)と元会社員、太田敏光氏(68)を破り、2011年の出直し選挙を含めて4回目の当選をした。投票率は36・90%だった。